

平成 25 年度 消防・救助技術の高度化等検討会報告書（抜粋）

第 I 編 検討会の概要

第 2 章 検討内容

第 2 節 N 災害等分科会

第 3 今後の課題

本検討会におけるマニュアルの見直しの検討の過程において、原子力災害等への対応を消防機関が円滑に、かつ、安全に実施していくためには、次のような課題に着実に取り組んでいくことが必要とされた。

3 消防機関として整備する資機材の種類を検討

消防として整備する資機材の種類については、関係機関等を含めた原子力災害対策の見直しの進捗に合わせ、継続的に検討していく必要がある。

その際には、放射線防護をより効果的に行うとともに、災害対応力の向上を図る観点から、放射線を可視化できる装置等の最新技術や、無人で放射線量や周辺状況を確認したり消火等を実施することができるロボット等の高度な資機材等についても情報を収集し、消防機関として共通的に必要な資機材・装備品、これらに加えて管内の施設や人口等の実情に応じ高度化が必要となるもの等について整理しておくことが必要である。